様式１

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2021 年 7 月 　 日

（宛先）札幌市長

提出者　住　所	〒102-8450
	東京都千代田区二番町8番地8
氏　名	株式会社イトーヨーカ堂
（代表者名）	代表取締役　　三枝　富博

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動
自動車使用管理計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

<table>
<tr><td colspan="2">事業の概要</td><td colspan="8">56 各種商品小売業</td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業の規模</td><td>従業員数</td><td colspan="2">約1400</td><td>人</td><td colspan="2">原油換算した
燃料・熱・電気の合計量</td><td colspan="2">7154.8</td><td>kl</td></tr>
<tr><td>使用床面積</td><td colspan="2">延床面積248,019</td><td>㎡</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>事業所数</td><td colspan="2">4</td><td>事業所</td><td colspan="2">自動車使用台数</td><td colspan="2"></td><td>台</td></tr>
<tr><td>温室効果ガス排出量
（二酸化炭素換算排出量）</td><td colspan="9">エネルギー起源CO_2 16700 t-CO_2　メタン t-CO_2　N_2O t-CO_2　HFC t-CO_2
非エネルギー起源CO_2 t-CO_2　PFC t-CO_2　SF_6 t-CO_2　NF_3 t-CO_2</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">提出根拠</td><td colspan="7">条例第１３条（環境保全行動計画）</td><td colspan="2">☑ 第１項 ☐ 第３項</td></tr>
<tr><td colspan="7">条例第２３条（自動車使用管理計画）</td><td colspan="2">☐ 第１項 ☐ 第２項</td></tr>
<tr><td colspan="2">計画期間</td><td colspan="9">2021 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日</td></tr>
<tr><td colspan="2">環境保全行動
自動車使用管理　計画書</td><td colspan="9">別添のとおり</td></tr>
<tr><td rowspan="2">備考</td><td>環境マネジメントシステムの認証登録の有無及びその種類</td><td colspan="9">☐ 有（認証名　　GREEN CHALLENGE 2050　　） ☑ 無</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="9">認証登録ではありませんが、セブン＆アイHLDGS.の事業会社として、環境マネジメントに対する環境宣言を公表しています。</td></tr>
</table>

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1　基本的な方針

株式会社イトーヨーカ堂は、環境に関連する法規制を遵守し、事業活動が、地球規模の資源問題、温暖化問題に関っていることを深く認識し、商品の開発・生産、配送といったサプライチェーンから、販売、消費までのすべての段階における環境負荷を評価し、CO2排出量を削減するよう努めます。
株式会社イトーヨーカ堂は、CO2削減に向けて、以下の取り組みを事業特性に合わせて実施します。
①商品の開発・生産によるCO2の削減：商品の容器・包装では、軽くする・薄くするなどの他、環境負荷の低い新素材を導入します。
②物流の効率化によるCO2の削減：店舗への商品の配送は繰り返し使える『通い箱』を活用することで資源を有効活用します。
③販売にともなうCO2の削減：環境マネジメントを徹底し店舗、事業所でのエネルギー使用を削減します。
④社員によるCO2削減：全社員に対して環境教育等を通じた啓発に努め、社員自らがCO2 削減を積極的に進めていきます。
⑤熱源(冷凍機)、個別エアコン、給湯ボイラー、冷ケース(コンプレッサ、棚照明)、基本照明、スポットライト、エアハンドリングユニットの老朽化更新にあわせた省エネ型への更新

2　行動目標

【計画期間】

2021 年　4　月　1　日 ～　　2024 年　3　月　31　日

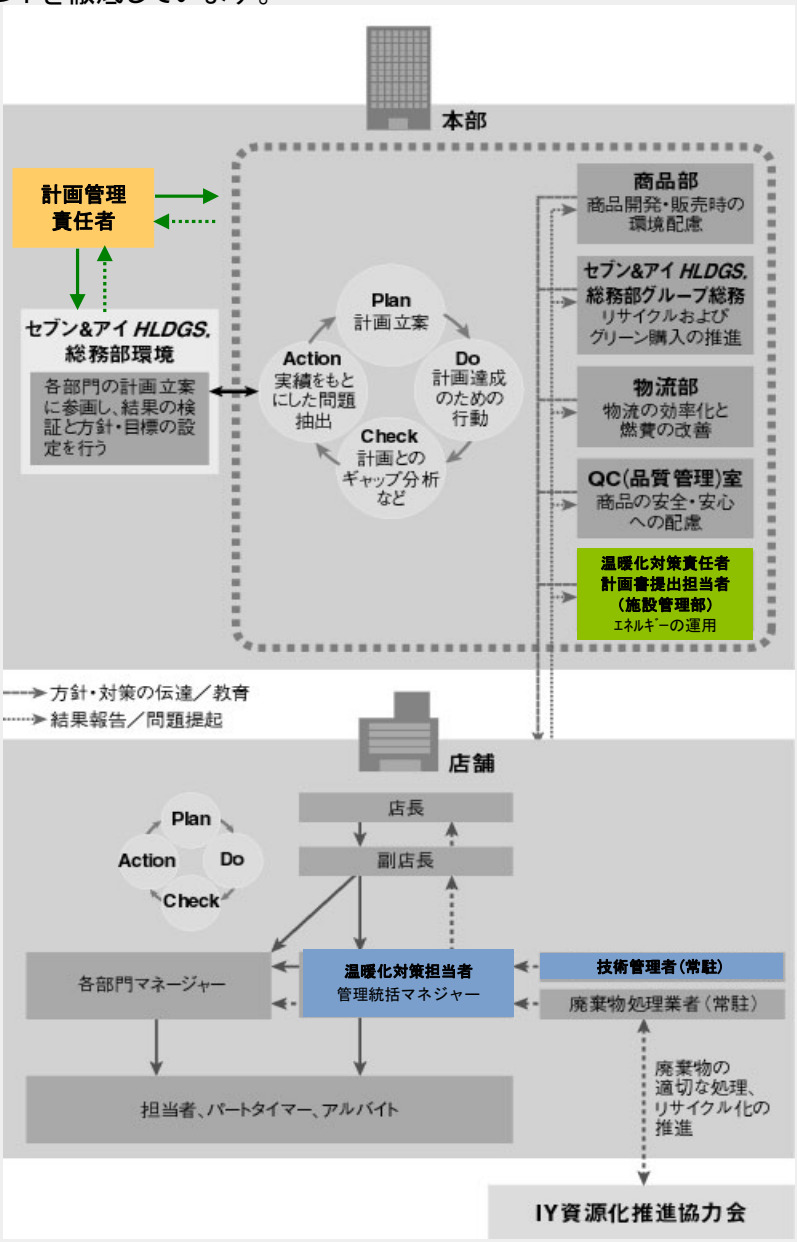
行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
事業活動に伴うCO2排出量を原単位にて削減	67.334	t-CO2/延床面積（千㎡）	3	%	65.3	延床面	2020年度に閉店した1事業所を除く4事業所にて2020年度実績に対し年平均1%削減	電気、都市ガス、A重油、灯油
				%				
				%				
				%				
				%				
				%				

3　行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2021 年度	2022 年度	2023 年度
環境負荷の適切な把握	環境マネジメント体制の構築	本部	本部、店舗			
	店舗運営に伴うCO2排出量の適切な把握	施設管理部	店舗、技術管理者			
	公共下水道への排出の適切な水質管理	施設管理部	店舗、技術管理者			
	フロンガスの種類及び保有量の把握及び適正な管理	施設管理部	店舗、技術管理者			
循環型社会の構築に向けた資源の有効活用	ﾏﾆﾌｪｽﾄ(産業廃棄物管理票)の適正管理及び廃棄物処理ルールの従業員への研修	本部	店舗全員			
	循環型食品リサイクルの推進(商品残さの肥料化による有効活用)	本部	本部、店舗全員			
	循環型リサイクルの促進(ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ、食品容器、段ボール等の店頭回収)	本部	本部、店舗全員			
	レジ袋の使用量削減の促進	本部	店舗全員			
森林保全活及び環境意識の啓発	森林整備活動への積極的な参加推進及び間伐材を活用した商品の開発･販売	本部	従業員全員			
	環境に配慮した商品の販売	本部	店舗全員			
	従業員へのeco検定取得の推進	本部	従業員全員			
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の運用対策による削減	店内基本照明調光設備による適正な照度管理	施設管理部	技術管理者			
	バックルーム照明のこまめな消灯及び部分的な間引き	施設管理部	全員、技術管理者			
	営業時間前後の不要照明の消灯	施設管理部	全員			
	看板及び外灯等の点灯時間を季節別に管理	施設管理部	技術管理者			
同上	自動販売機照明の夜間消灯	施設管理部	技術管理者			
	冷暖房設定温度の適正管理(冷房時:26℃、暖房時:18℃)	施設管理部	技術管理者、全員			
	空調運転開始時間の見直し及び予熱による停止時間の短縮	施設管理部	技術管理者、全員			
	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾗｰによりﾋﾟｰｸ電力低減及び電力平準化時間帯の電力抑制	施設管理部	技術管理者			
低炭素社会に向けたエネルギーの効率的な利用	LED照明器具への積極的な更新	施設管理部	技術管理者			
	設備更新時は省ｴﾈﾙｷﾞｰ性能の高い機器への更新の積極的な検討	施設管理部	技術管理者			
	再生可能エネルギー発電設備の導入や再エネ電力契約の積極的な検討	施設管理部	技術管理者			

4　環境保全に係る実施組織体制

株式会社イトーヨーカ堂は、セブン＆アイHLDGS.の総務部環境と連携しながら、グループの方針に基づく環境保全活動計画を策定するとともに、テーマ別に設定した担当部門が各店舗への教育・管理に取り組みながら「目標の設定（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）」というサイクルに沿った環境マネジメントを徹底しています。



5　その他（環境保全活動の取り組み等）

当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。
http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html